

交通法規に対する運転者の意識調査

豊田工業高等専門学校専攻科 学生員○大森 洋介 学生員 庄司 知教
 豊田工業高等専門学校 正員 荻野 弘 正員 野田 宏治
 建設省関東地方建設局 鈴木 修子

1. はじめに

近年、高齢化社会が進行していると言われ、それに伴い高齢運転者が関与する交通事故も多発してきている。そこで、平成9年から「もみじマーク」が法制化され75歳以上の高齢運転者は保護されることとなった。一方、交通安全に対する意識が随分と軽視されがちで、飲酒運転による交通事故も依然減少していない。飲酒運転による交通事故は通常の事故と比べて死亡事故につながり、極めて危険な行為である。しかし、飲酒運転で厳しい社会的な制裁が加えられるのにも関わらず検挙される人はあとを断たない。

本研究では、一般ドライバーから見た高齢運転者へのイメージを探り、また、飲酒運転と他の法令違反を一对比較により分析し、全ての運転者にとって快適な交通環境とは何かを探る。

2. 調査方法

調査方法は、任意の団地を対象に個別訪問でアンケート用紙を配布し、1週間後に回収を行った。回収結果は以下の通りである。

- ・配布数；300部
- ・回収数；240部（回収率；80%）

3. 分析および結果

分析は以下の二つに分けて行う。

- イ) 高齢運転者マークについての意識
- ロ) 飲酒運転についての意識

なお、今回の調査における回答者の年齢別構成比を図1に示す。

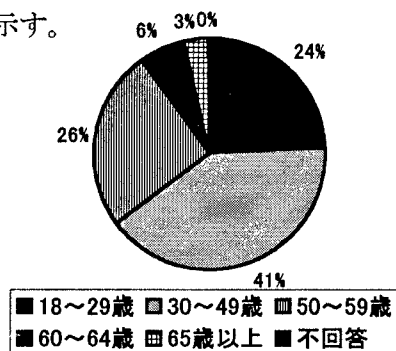


図1 回答者の年齢別構成比

3-1. 高齢運転者に対する意識

高齢者運転マークと高齢運転者に対する一般運転者の対応について見ると、高齢運転者マークの名称やその意味を知っているかの質問に対して、91%がマーク自体の存在を知っている。このことから、世間一般に“高齢者運転マーク”が認識され始められていることが分かる。しかし、マークの対象年齢や対応を正確に回答できたのは全体の13%と非常に低く、本質的な意味を理解してもらうにはまだ時間がかかりそうだ。

また、図2と図3には高齢運転者に対する、一般ドライバーの意識を表した。高齢運転者に対するイメージでは「速度が遅い」「運転が慎重」「視野が狭い」が上位を占めた。一方、高齢運転者マークを付けた車への対応では、「車間距離を広く取る」「ゆとりを持って接する」などの回答数が多く、自らが高齢運転者の安全を図り、かつ高齢運転者にとって運転しやすいような環境をつくりだそうと考えている人が多い傾向が見られた。

高齢運転者の事故を減らすにはどのような事故対策を採るべきかを質問したところ、「公共交通機関を充実させる」「道路標識を見やすくする」等が有効であるとする意見が多く、高齢者自身に働きかけるより、身近にある交通環境を整えるべきだという回答が多かった。更に、加齢に伴う運転技術の衰えをチェックする機構や制度が必要であるという意見もあった。

3-2. 飲酒運転に対する意識

飲酒運転に対する意識の分析方法として「飲酒運転」「信号無視」「シートベルト不着用」「禁止区間での追い越し」「25km/h以上のスピード違反」を想定し一对比較を行った。その結果、「酒気帯び運転」と「信号無視」が同程度の悪質であり（図4）、また、その他の違反に対しては「酒気帯び運転」が圧倒的に悪質度が高かった。

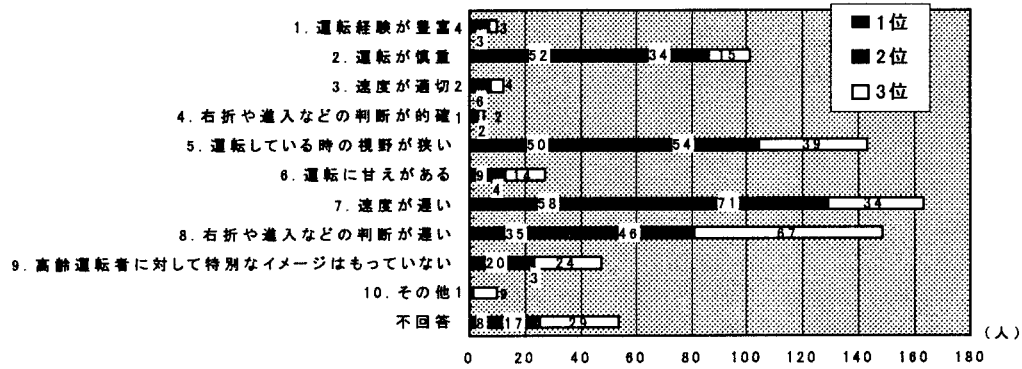


図2 高齢運転者に対するイメージ

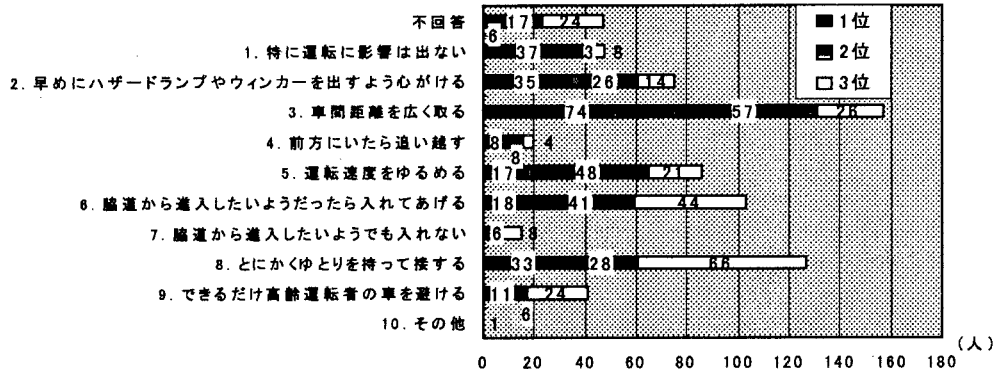


図3 高齢運転者マークを付けた車への対応

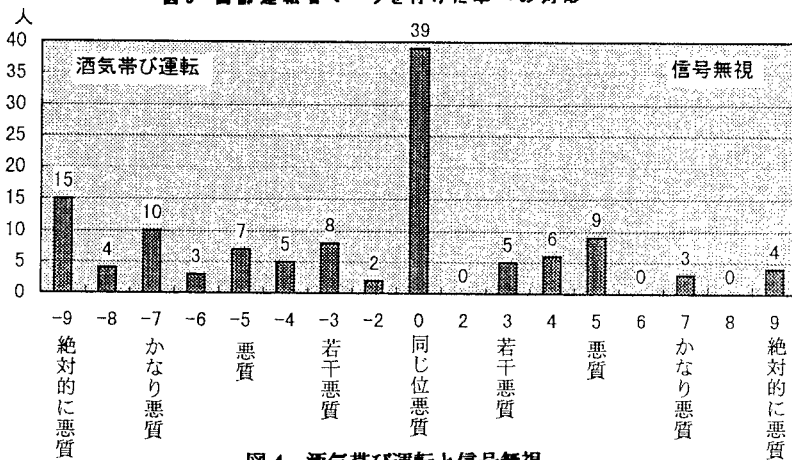


図4 酒気帯び運転と信号無視

一方、年齢別にみると、若い世代になるほど「酒気帯び運転」に対する意識の低下が見られ、更に運転歴が1~2年の初心者ドライバー、もしくは初心者マークが外れて間もない運転者が「酒気帯び運転」を軽視する傾向にある。このことから、飲酒運転による交通事故を未然に防ぐためには運転手一人一人が飲酒の危険性の認識を高め、その個人がしっかりとしたモラルを持つことで飲酒運転事故の減少につながると考えた。

4. まとめ

日常の運転において運転者の経験によって様々な危険を回避できることが多く、即、交通事故に

つながるわけではないが、交通マナーやルールによってその経験が活かせない場合もある。運転する以上、危険は常に潜んでいるものである。しかし、その危険をできるだけ防ぐには、運転者自身が現在の交通環境を十分に把握すると同時に、自分以外の運転者に気を配るなど、運転に対する意識をもう一度冷静に見直さなければいけない。

交通法規の遵法については、「飲酒運転」を基準にみると、危険の認識では「信号無視」が同程度であり、他の違反については絶対的に「飲酒運転」が悪質であると答えているのにも関わらず、「飲酒運転」による違反は一向に減らない。